

授 業 科 目	義肢学 I		
教 育 内 容	専門分野	応用義肢装具学	
担 当 教 員	丸山貴之、吉岡久恵、那須祐介		
学 年	2	単 位 数	3
開 講 時 期	通年（水曜日 1-4 限） （前期 64 回、後期 60 回）	時 間 数	講義（60 時間）・実習（180 時間）

■ 授 業 概 要			
本科目では、モデル被験者を対象に下腿義足の採型、修正、製作、適合の実習を行う。よって、製作・適合技術は当然として、モデル被験者と円滑なコミュニケーションをとることも本科目の課題となっている。 製作実習では、PTB、PTS、KBM、TSB の 4 種類のソケットタイプのプロジェクトを行う。各プロジェクトごとに仮合わせでの作業内容を適合レポートにまとめ、プレゼンテーションを行うことで、各学生の経験を共有し、適合についての理解を深める。 講義では、「各ソケットタイプについて」、「アライメント調整」、「義足足部について」、「ライナーと懸垂方法」の講義を行う他、「下肢切断の原因疾患とそれに対する義足及びリハビリテーションについて」のセミナー形式の課題を課し、下腿義足の疾患と適応について理解を深める。 また、義足足部とライナーについては外部講師を招いて講義を行い、レポートを課し、義足部品についての理解を深める。 サイム義足と足部義足についてはその理論と構造・機能について講義を行う。			
■ キ ー ワ ー ド			
下腿義足の種類と機能、義足の体重支持と懸垂、下腿義足の適合とアライメント、サイム義足・足部義足			
■ 到 達 目 標			
1) 下腿義足の製作・適合技術について理解し実践できる。不適合の原因を理解し、対処できる。 2) 義足歩行と義足アライメントについて理解し、不適合に対処できる 3) ソケットタイプの特徴を説明できる 4) 下腿切断の原因疾患と、それに適した義足（ソケットタイプやパーツ選択等）の考え方を理解する 5) モデル被験者に対し、作業に必要な的確な指示と、円滑なコミュニケーションを行うことができる			
■ 授 業 内 容			
第 1-4 回	P T B	オリエンテーション 講義：「下腿義足概論」、「PTB ソケット」 採型（Demo）、採型練習	モデル 1 名
第 5-8 回		採型（小テスト）	モデル 7 名
第 9-12 回		修正（→乾燥）、ソケット埋め込みブロック切り出し	
第 13-16 回		ソケット製作（小テスト）	
第 17-20 回		講義：「アライメント」 ソケット埋め込み、義足組立	
第 21-24 回		義足組立、仮合わせ（Demo）（小テスト）	モデル 1 名
第 25-28 回		仮合わせ（小テスト）	モデル 7 名
第 29-32 回		適合レポート発表	レポート提出
第 33-36 回	P T S	講義：「PTS ソケット」 採型（Demo）、採型練習、講義「義足足部について」	モデル 1 名
第 37-40 回		採型（小テスト）	モデル 7 名
第 41-44 回		修正	

第 45-48 回		ソケット製作、義足組立（発泡樹脂）	（小テスト）	
第 49-52 回		義足組立	（小テスト）	モデル 1 名
第 53-56 回		義足組立、仮合わせ（Demo）	（小テスト）	モデル 7 名
第 57-60 回		仮合わせ		レポート提出
第 61-64 回		適合レポート発表		
第 65-68 回		講義：「KBM ソケット」 採型（Demo）、採型練習		モデル 1 名
第 69-72 回		採型	（小テスト）	モデル 7 名
第 73-76 回		修正（→乾燥）、ソケット埋め込みブロック切り出し		
第 77-80 回		ソケット製作	（小テスト）	
第 81-84 回		ソケット埋め込み、義足組立		
第 85-88 回		義足組立、		
第 89-92 回		義足組立、仮合わせ（Demo）	（小テスト）	モデル 1 名
第 93-96 回		仮合わせ	（小テスト）	モデル 7 名
第 97-80 回		適合レポート発表		レポート提出
第 81-84 回		講義「サイム義足・足部義足」、講義「ライナーと懸垂装置」		
第 85-88 回		疾患セミナー①、②、③		
第 89-92 回		疾患セミナー④、⑤		
第 93-96 回		講義：「TSB ソケット」 採型（Demo）、採型練習		モデル 1 名 足部レポート提出
第 97-100 回		採型	（小テスト）	モデル 7 名
第 101-104 回		修正、ソケット整形 Demo		
第 105-108 回		ソケット成形、義足組立	（小テスト）	
第 109-112 回		義足組立		
第 113-116 回		義足組立、仮合わせ（Demo）		モデル 1 名
第 117-120 回		仮合わせ	（小テスト）	モデル 7 名
第 121-124 回		適合レポート発表		レポート提出

■ 評 価 方 法

本科目の評価は、「製作実習」、「適合レポート」、「セミナー発表」、「足部レポート」、「小テスト」、「中間試験」、「期末試験」の各項目での評価を総合して行う。

注 1) 適合レポートは発表日の I 限開始時まで全員分コピーし資料として配布を完了しておくこと。I 限開始時まで提出されていないレポートについては評価を 0 点とするので注意すること。

注 2) セミナーについては。資料を発表の前日 17:00 までに提出し、前日のうちに資料として配布を完了しておくこと。セミナー発表日に発表できない者に対しては、評価を 0 点とするので注意すること。

注 3) 足部レポートは提出期限外のものについては評価を 0 点とするので注意すること。

〈評価配分〉製作実習 30%、適合レポート 10%、セミナー発表 10%、足部レポート 5%、小テスト 5%、中間試験 20%、期末試験 20%

■ 教 科 書

義肢学 第 3 版、義肢製作マニュアル 第 2 版、義肢装具のチェックポイント 第 9 版
（参考図書）切断と義肢 第 2 版

■ 留 意 事 項

<実務経験のある教員>

丸山貴之：専任教員として 14 年間勤務の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任にて下腿義足の採型、製作、適合業務に従事。

吉岡久恵：民間施設にて約 9 年従事。その後、教員（常勤・非常勤）として 18 年勤務。同時に東京都等の非常勤職員として義肢装具の更生相談に携わる。専任教員の傍ら当センター病院リハビリテーション部併任。

那須祐介：民間施設にて約 6 年従事。当センター病院リハビリテーション部併任。